

2. 熊本駅周辺地域 UD プレワークショップ in 新八代駅








～ 先進事例駅で今後の熊本駅周辺整備を考える ～

ユニバーサルデザインについて

(良い点、 検討課題あり)

【C班発表内容】・・・乗り継ぎ客の立場から（在来線から新幹線への移動経路を想定）

評価対象	意見の概要	写真
在来線の駅ホーム	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出入口・エレベーターのサインの（在来線の階段の上）場所が分かり難い。 ■ ホームが狭い。 ■ エレベーターのサインがなくわかり難い場所がある。ここからは、エレベーターも見難くなっている。 ■ エレベーターを使用する人には、階段とホームとの幅が狭いので、手すりが必要である。 	 
トイレ（全般）	<ul style="list-style-type: none"> □ 階段を上った正面にトイレがあるので、分かりやすい。 ■ 福祉トイレとして、親子等が使うことを想定すると使い難い部分がある。 ■ トイレの利用時間（開放時間）が決まっている。19：15以降はかなり距離のある所に行く必要がある。利用時間を考えるべき。（逆からこられた方のことも考える必要がある） 	 
福祉トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 手すりが水平移動するものであり、短くて使い辛い。 ■ レバーの位置が便器の後ろにあり使い辛い。 ■ 金属パイプは冬場は冷たくなる。樹脂製のものを使うべき。 	
サイン	<ul style="list-style-type: none"> ■ 背景の光、風景でサインが見難くなることがある。（光の反射等） 	
移動経路・階段	<ul style="list-style-type: none"> □ 2段手すりは良い点である。 □ 自転車も押していくので、勾配が滑らかであり、子供・お年寄りも使いやすいことが良い。 ■ 踊り場があるが、誘導サインがなく、わかり難い、使い辛い。 ■ 階段の先端にある表示が薄い部分・ない部分がある事は危険である。 	 

評価対象	意見の概要	写真
駅舎の案内表示等	<ul style="list-style-type: none"> ■ 構内に入った時、右手に券売機があるのに、左手にサインがあるのはわかり難い。（反対側となっている）また、そのことから、駅舎の案内図が90度逆方向となり、案内図と構内の対比がし難い。 ■ 掲示板の奥に時刻表がある。手前に掲示板、パンフレット等があり、わかり難くなっている。これは後付けと考える。 	  
券売機	<ul style="list-style-type: none"> □ 表示は分かりやすい。 ■ ボタンが高く、車椅子の方にとっては使い辛い。 ■ 緑の窓口の利用を前提としているのはどうかと思う。普通の券売機の所にも誘導することも考える必要がある。 ■ 誘導ブロックがない。（緑の窓口だけでなく、普通の券売機利用も検討するべき） 	
待合室	<ul style="list-style-type: none"> ■ とがった椅子は危険である。 □ 広くて使いやすい。 	
新幹線ホーム	<ul style="list-style-type: none"> □ 防護柵の高さはいいと感じる。 □ ホームのセンターのブロックに関して、在来線の駅舎に比べて、新幹線の駅舎はプラットフォームの先端から、距離があり安全である。 □ ホームとホームの間のつながれた部分に点字ブロックがある事はいい。 	 

3. ワークショップ検討結果を踏まえた配慮事項一覧

ポイント	検討課題	留意・検討事項	
移動空間	円滑な移動経路	券売機等の主な施設が認識しやすい視野の確保	
	フラットな移動経路	段差がない移動	
	移動しやすい床材	車椅子、ハイヒール、ベビーカーに対応	
	利用しやすい昇降施設	全体	階段、EV、ESを併設、3択できるよう配置 利用者ニーズを踏まえた位置の検討 昇降設備のわかりやすさへの配慮
		EV	通過型EVは開閉方向の音声案内設置 1方向出入りの場合は、かご内で車いす転回、鏡の見やすさに配慮 ボタン類の位置は押しやすさを検証して決定 シースルータイプの採用 車いす利用者に配慮した列車ドアに近いEV位置の検討
		階段	2段手すり、点字表記、段差識別色表示等 階段寸法の統一
	車輦とホーム間の隙間	最小限となるよう設計	
	注意喚起用床材の敷設	ホーム先端及び階段端部に敷設	
	ホーム両端部の転落防止柵設置	設置	
	ホームドア・ホーム柵設置	設置	

ポイント	検討課題	留意・検討事項	
生活空間	トイレの設置	非常時・緊急時対策の検討 幼児連れ対策の検討 利用者参画による使いやすい設備機器検討（洗面設備、手すり、洗浄装置など） 多目的トイレ仕様（オストメイト対応、ベビーシート、開閉ボタン、荷物置き、着替え用の台など）	
		車いす、障害者等に配慮した券売機	配慮した自動券売機を設置
		休憩・待合スペースの確保	待合室等の充実（運行情報を提供する情報サイン設置、安全性・快適性に配慮したファニチャー類の検討） 身体状況の応じたベンチの設置検討
	多目的室(授乳・FAX・コピー等)設置	ラチ内に設置	
	みどりの窓口・総合案内	車いす、子供に配慮した高さのカウンターを設置 荷物置き、ベンチの設置	
	ホーム上屋の設置	駅舎全体に屋根設置	
	外気を遮断した待合室の設置 荷物置きのあるベンチの設置	上下ホームに屋内待合室1ヶ所ずつ設置 待合室等の充実（運行情報を提供する情報サイン設置、安全性・快適性に配慮したファニチャー類の検討） 待合室の緊急対策 身体状況に応じたベンチの設置検討	
		情報装置	認識性（色・形・素材）、移動性、耐久性に優れた視覚障害者誘導ブロック 単純でわかりやすい配置 ブロック色（黄色）が認識しやすい床材色を選定
	だれもがわかりやすい案内誘導サイン	わかりやすいサインシステム（標記方法、連続性、位置） 利用者参加によるサインの見やすさの現地確認（できれば仮設置） 認識しやすい可変情報装置の設置 音声誘導案内の検討 わかりやすい位置へ総合案内所を設置（在来駅舎側も含めて検討）	